島原市水道事業業務状況説明書

平成24年 5月 31日公表

島 原 市

地方公営企業法(昭和27年法律第292号)第40条の2第1項の規定及び島原市
水道事業の設置等に関する条例(昭和43年3月条例第6号)第7条の規定に基づき、
平成23年10月1日から平成24年3月31日までの島原市水道事業の業務状況の
説明書が島原市水道事業管理者 島原市長 横田修一郎 から提出があった。

平成24年 5月 31日

島原市長 横田 修一郎

目 次

1 概況	1 頁
2 事業の概況	2 頁
3 工事の概況	3 頁
4 予算の概要	
平成 23 年度島原市水道事業会計予算	
第 1 条（総則）～第 3 条（収益的収入及び支出）	4 頁
第 4 条（資本的収入及び支出）	
～第 6 条（予定支出の各項の経費の金額の流用）	5 頁
第 7 条（議会の議決を経なければ流用することのできない経費）	
～第 9 条（たな卸資産購入限度額）	6 頁

1 概況

(1)業務状況

平成24年3月末日現在の給水戸数は上水道で15,920戸、前年同期に比べ74戸(0.5%)増加し、簡易水道が680戸で前年同期に比べ1戸(0.1%)増加しております。

有収水量は上水道が1,960,387 m^3 で前年同期に比べ42,314 m^3 (2.1%)減少し、簡易水道が99,546 m^3 で前年同期に比べ3,706 m^3 (3.6%)減少しております。

(2)工事等の状況

工事等の概況は別表のとおりで15件、工事費総額 105,747,600円となっており、内訳は拡張工事が親和町湊広場線配水管敷設工事等の2件で3,683,400円、改良工事が国道251号線配水管布設替工事等の13件で、102,064,200円となっております。

(3)経営方針

給水収益は年々減少傾向の中、引き続き老朽管の計画的な布設替工事を施工し、水道施設の改善等を図りながら将来にわたる水の安定供給、水質の安全性の確保に努めます。また、水道事業基本計画に基づき平成26年度の有明町簡易水道との事業統合及び統一料金改定に向け、策定した事業計画により水道施設の更新・再構築と配水システムを見直し、低コストによる管理運営を図ります。

2 事業の概況

(1) 業務量(平成24年3月末)

区 分	単 位	上 水 道			簡 易 水 道			
		本 年 度	前 年 度	前年度との 比較増減	本 年 度	前 年 度	前年度との 比較増減	
給水区域内人口	人	34,190	34,317	△ 127	2,270	2,287	△ 17	
給 水 人 口	人	34,154	34,283	△ 129	2,265	2,282	△ 17	
普 及 率	%	99.9	99.9	0	99.8	99.8	0	
給 水 戸 数	戸	15,920	15,846	74	680	679	1	
配 水 量	10月～3月	m ³	2,427,171	2,450,748	△ 23,577	128,898	138,422	△ 9,524
	1ヶ月平均	m ³	404,529	408,458	△ 3,930	21,483	23,070	△ 1,587
	1日平均	m ³	13,263	13,466	△ 202	708	761	△ 52
有 収 水 量	10月～3月	m ³	1,960,387	2,002,701	△ 42,314	99,546	103,252	△ 3,706
	1ヶ月平均	m ³	326,731	333,784	△ 7,052	16,591	17,209	△ 618
	1日平均	m ³	10,712	11,004	△ 291	547	567	△ 20
一日最大給水量	m ³	15,598	14,843	755	1,078	954	124	
有 収 率	%	80.8	81.7	△ 0.95	77.2	74.6	2.6	

(2) 用途別使用水量(平成23年10月～平成24年3月)

区 分	上 水 道				簡 易 水 道			
	戸 数	基本水量	超過水量	計	戸 数	基本水量	超過水量	計
	戸	m ³	m ³	m ³	戸	m ³	m ³	m ³
家 事 用	13,531	544,405	813,442	1,357,847	606	26,657	60,670	87,327
業 務 用	2,377	74,539	523,015	597,554	74	1,894	10,325	12,219
船舶給水栓	12	0	4,986	4,986	0	0	0	0
計	15,920	618,944	1,341,443	1,960,387	680	28,551	70,995	99,546

※戸数は3月末現在

3 工事等の概況

No.	工 事 名	工 事 費	着 工 年 月 日	竣 工 年 月 日	備 考
1	上の原水源地他3箇所流量計取替工事	13,020,000	平成23.9.5	平成23.11.11	改 良 (再掲)
2	洗切2号線配水管布設替工事	5,284,650	平成23.9.26	平成24.1.10	改 良
3	国道251号配水管布設替工事	10,125,150	平成23.10.4	平成24.1.13	改 良
4	南下川尻親和町線配水管布設替工事	3,339,000	平成23.11.22	平成24.2.10	改 良
5	上の原9号線配水管布設替工事	9,242,100	平成23.11.9	平成24.3.2	改 良
6	下折橋10号線配水管布設替工事	16,692,900	平成23.11.22	平成24.2.29	改 良
7	的野縦線配水管布設替工事	8,241,450	平成23.11.15	平成24.2.29	改 良
8	洗切大手原線配水管布設替工事	7,198,800	平成23.11.22	平成24.2.29	改 良
9	森岳配水池他1箇所操作盤取替工事	15,309,000	平成24.1.18	平成24.3.26	改 良
11	高島丁椿原線配水管布設替工事(2工区)	2,950,500	平成23.11.9	平成24.1.27	改 良
12	原口・油堀1号線配水管布設替工事	1,898,400	平成24.11.9	平成24.1.31	改 良
13	萩原小山線配水管布設替工事	8,762,250	平成23.12.20	平成24.3.23	改 良
14	親和町湊広場線配水管布設工事	2,012,850	平成24.2.13	平成24.3.9	拡 張
15	消火栓設置工事	1,670,550	平成24.3.1	平成24.3.27	拡 張
	合 計	105,747,600			

4 予算の概要

平成24年度島原市水道事業会計予算

(総則)

第1条 平成24年度島原市水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

上水道事業

(1)給水戸数	15,800 戸
(2)年間総給水量	4,957,000 m ³
(3)1日平均給水量	13,581 m ³

簡易水道事業

(1)給水戸数	672 戸
(2)年間総給水量	276,000 m ³
(3)1日平均給水量	756 m ³

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収	入	
第1款	水道事業収益		480,486 千円
第1項	営業収益		476,077 千円
第2項	営業外収益		4,407 千円
第3項	特別利益		2 千円

	支	出	
第1款	水道事業費用		459,592 千円
第1項	営業費用		383,051 千円
第2項	営業外費用		75,946 千円
第3項	特別損失		595 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額140,328千円は、当年度分消費税資本的収支調整額5,937千円、過年度分損益勘定留保資金 71,797千円、当年度分損益勘定留保資金62,594千円で補てんするものとする。)

収		入	
第1款	資本的収入		115,120 千円
第1項	企業債		106,700 千円
第3項	固定資産売却代金		1 千円
第4項	負担金		3,712 千円
第5項	補助金		4,707 千円
支		出	
第1款	資本的支出		255,448 千円
第1項	建設改良費		129,216 千円
第2項	企業債償還金		126,232 千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
上水道拡張事業	千円 14,000	証書借入	年 4.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借入れを行った場合について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	30年以内(内据置5年以内)又は半年元利均等、又は元金均等償還。繰上償還又は低利に借換えすることもある。
上水道改良事業	92,700			
簡易水道改良事業	0			
計	106,700			

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第6条 予定支出の各項の経費の金額を流用することのできる場合は、次のとおりと定める。

(1) 営業費用と営業外費用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第7条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費を、その経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費	120,762 千円
(2) 交際費	11 千円

(一般会計からの補助金)

第8条 中木場簡易水道建設事業の起債に係る元利償還、地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費のため、この会計へ補助を受ける金額は8,475千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第9条 たな卸資産の購入限度額は11,548千円と定める。

島原市長 横田 修一郎